

5. 専門家による調査結果等

【調査の目的】

今回の箕輪町松島における堤防決壊は、計画高水位に相当する水位まで上昇する規模の洪水により、堤防から越水してないにもかかわらず発生したものであり、決壊の発生原因、進行のメカニズムの解明を目的に現地調査及び第一通報者等へのヒヤリングを行った。

【決壊原因】

第一通報者等からの聞き取りによると、河川の水位が堤防を越えないものの、水位が相当程度まで上昇している状態で、堤防の川側の水面付近から堤防の一部損壊が始まり、徐々に損壊が拡大した後決壊に至り、その後上下流に拡がっていったとのことであった。

決壊原因としては、堤防の浸食・洗掘が想定されるが、護岸基礎部の浸食に伴って護岸が崩壊したのか、護岸上部からの洗掘から崩壊に至ったのかの解明には、決壊時の河川の状況、流速やその分布等の今後の調査が必要である。

【当面の対策】

当面の対策として、

- 堤防決壊の拡大防止のため現在実施中の大型ブロックの投入を継続する必要がある
- 引続き実施する緊急復旧対策にあたっては、高い水位が長期間継続する可能性もあることから、浸食拡大の可能性や施工効率に留意して対策をすること。



調査状況



第一通報者等からの聞き取り